第 234 回 昭和の森自然観察会

池　や　川　の　仲　間　た　ち

小林義和（千葉市）

日　時：2011 年 6 月 12 日　13：00～15：00　天気：晴　気温 26℃

参加者：一般 50 名（大人 26 名・子ども 24 名）、指導員 16 名

担当指導員：小林義和　山田益弘　町山健二

午前中は指導員の研修を兼ねた小中川の生き物調査を行い、午後からの一般観察会では 同じ小中川の生き物観察と藤棚横の池に棲む にっくき アメリカザリガニの退治との二班に分けての観察会としました。

生き物観察を行う小中川は南側をゴルフ場に接する谷津田を中心とする流域からの湧水が下流の小中池に注いでいる川である。谷津田の西側は昭和の森の多目的広場に、東側は山林に覆われていて、小中川の最上流でありながら豊かな水量がいつも流れている。 調査地点の下流は途中 大網白里の谷津田からの小川を合流し、又昭和の森からの水を落としこんでいて、200～300m 下流は約7m の落差の小中大滝から小中池に落下している比較的流域の限られた川である。毎回調査をしている箇所は上流に生活拠点が全く無いため比較的きれいな水ではないかと思われています。谷津田には田圃が耕作されているのと最上流のゴルフ場からの汚染水が危惧されるが今のところ生物に大きな変化が認められないことから、お互いに相応の管理が行われているものと想像している。

本日の観察会で捕獲された生き物を下表に示します。

採取された生物	数	水質の指標	採取された生物	数	水質の指標
ヘビトンボ	7	きれいな水	アカガエル	2	
ヒル	1	きたない水	クロズマメゲンゴロウ	1	
カワニナ	多数	少しきたない水	サワガニ	5	きれいな水
ヨシノボリ	12		カゲロウ	1	
オニヤンマ	6		ドジョウ	5	
シマアメンボ	2		ヤマアカガエル	5	
ニホンアカガエル	1				

調査の結果は大きな変動は認められず きれいな水の環境に評価できるものと思われます。

二班がザリガニ退治を行った ため池にはアメリカザリガニ、ウシガエルのオタマジャクシ、メダカ、などが生息していて昭和の森のホタル水路の水源に位置づけされている。 ホタル水路にはホタルの幼虫、カワニナ、ヤゴ類、ホトケドジョウなどが生息しているがそれらをアメリカザリガニによる食害から防止のために昨年から退治を表面に出してザリガニ釣りを実施することにしています。釣ったザリガニは持ち帰り禁止として園の片隅に埋葬して処分を行いました。 最近池の水の透明度が悪化して池の底があまりよく見えないのはなぜでしょうか、調査が必要ではと感じました。

何時までも豊かな自然が残されますように祈っています。